



あかめ

平成26年2月28日
名張市立 赤目小学校
学校だより・号外



「赤目小学校小友会」って組織、みなさんご存じですか？

保護者の皆さん、赤目地区の皆さん、小友会という組織をご存知ですか？



赤目小学校小友会は、今から56年前の昭和33（1958）年に発足した歴史と伝統のある組織です。小友会の会員は、歴代の赤目地区区長幹事（現在は、赤目まちづくり委員会会長）とPTAの会長・副会長をされた方がなります。昭和33年から脈々と続く会のため、平成26年2月で会員数は110名と、たくさんの方が在籍されています。

小友会の主な活動は、赤目小学校に寄与することです。具体的には、毎年入学式の際、新1年生にたくさんの素敵な絵本をプレゼントしたり、毎日の児童の登下校のときに時間の許す限り街頭に出て子どもたちの通学の様子を見守ったりしています。

また歴史的には、例えば赤目小学校のプール設置や校舎の増改築のときに、案が進展できるような市関係者との交渉や地域住民に寄付金を募る活動をするなど、赤目小学校の大きな節目のたびに、会員さんが汗を流して赤目小学校のために貢献してくださりました。

そんな歴史と伝統ある赤目小学校ですが、残念ながら今年2月1日の総会をもちまして解散いたしました。錦生小学校との統合を前に「何とか小友会を残すことができないものか」と声も上がっていましたが、同様の組織が錦生小学校にないことや運営する事務局の関係などで幕を閉じることになりました。



解散に当たり、赤目小学校の児童のためにという趣旨で、ジェットヒーター（大型暖房器）1台と児童用図書を多数寄贈していただきました。ジェットヒーターは、先日の人権公演会の際に体育館の後方でフル稼働して温風を届けていたヒーターです。おそらく記憶に新しいのではないのでしょうか？またいただいた図書については、図書室の書架の一角に「赤目小学校小友会コーナー」を設けて置く予定をしています。学校を訪れた際には、ぜひ図書室をのぞいていただき、本を手にとってみてください。

寄贈品につきまして、誌上ではございますが小友会会員様に学校より厚くお礼を申し上げます。ありがとうございました。

2月1日の総会をもちまして、赤目小学校小友会は解散いたしました。110名の会員様同士が「今後もネットワークを大切に、小学校を見守っていきましょう！」と語っていただいています。今後も小友会会員と保護者、および地域の方々がつながり合って、4月からスタートする錦生赤目小学校を支援していただければと存じます。



55年間という長きにわたり、赤目小学校小友会の地区世話人様をはじめ会員の皆様方、赤目小学校を支えていただき、本当にありがとうございました。